

平成28年度

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース

試験問題表紙

解答上の注意

1. 表紙1枚, 問題用紙2枚, 解答用紙4枚があるかどうかを確認のこと。
2. 問題1, 2に全て解答すること。
3. 全ての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
4. 解答が解答用紙の表面に書ききれない場合は裏面につづけて記入すること。
5. 試験終了後は, 解答用紙のみを回収するので, 解答用紙以外は持ち帰ること。

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース試験問題

問題用紙全2枚(その1)

問題 1

下の資料を読んで、次の問いに答えなさい。

問 1

筆者のいう「付加価値」とは、どのような価値のことでしょうか。文中の体育あるいは算数の授業に関する例に言及しつつ、200字以内で説明しなさい。

問 2

あなたが教職について、どのような地域連携・協力を実践したいか述べなさい。

(資料)

I 地域連携・協力実践の現在

(略) 平成二五(二〇一三)年六月に閣議決定された「第二期教育振興基本計画」は、「学校・家庭・地域など様々な関係者が連携しつつ、それぞれの役割を果たすことにより、社会参加・自立に必要な知識・能力を一人一人が身に付けられるようにし」、また「学びを通じたコミュニティの形成をより積極的に進めていく」ことが必要だと記している。つまり、「連携」による教育の充実を図ると共に、学びを通してコミュニティの形成を図るという二つの意義を説いたのである。そこで、本稿ではその二つの側面に注目しながら「連携」の意義を述べていくことにしよう。

II 事例から見た「連携・協力」の意義

その意義を整理する前に、一つの事例を紹介しておきたい。東京都内のある公立小学校の事例である。筆者自身がアドバイザーとして五年間関わった学校で、その当時の校長は筆者に対して、「必要がなくても学校支援ボランティアにお願いする方針だ」と、度々話してくれた。たとえば、先生が一人でも可能な低学年の体育の授業では、体育館に設置された四台の跳び箱に数名のボランティアが補助者として担当する。すると、初めて跳べた子供がボランティアに褒められて嬉しそうな笑顔を見せるのである。もし先生が一人しかいなければ、そうした子供の姿を見逃す可能性がある。むしろ、安全面でもボランティアがいれば心強い。授業の最後には、子供たちは「今日は授業を見てくれてありがとう」と自然体でお礼の言葉を述べた。子供たちの学習に「厚み」が生まれたのである。

同じく四年生の算数の授業には五名の高齢者ボランティアが定期的に入って、机間指導を行っている。全員の前では質問しにくい子供も、近くにいるボランティアに気軽に質問でき、「わからない」を克服しようとしている。ボランティアは孫よりも小さい子供に笑顔で接して、こまめにアドバイスしている。この場面には、「一石三鳥」の意義が見いだせる。すなわち、①子供が臆することなく質問ができるという学習効率上の意義、②高齢者ボランティアが子供から「若さ」をもらいながらやり甲斐を感じているという生涯学習的な意義が見いだされる。その高齢者ボランティアたちは、授業に関わることによって、頭の体操になると喜びながら、もし学校に来る機会がなければ一日中テレビを観て自宅で過ごしていたと語っていた。さらに、③子供たちは普段接することが少ない高齢者と交流し、社会性などを身に付ける機会を得ている。まさに、子供が社会参加や自立に必要な知識・能力を身に付けるのに適した環境がつけられたのである。

このように、学校や教師の表面的な必要感の有無に左右されずに、地域住民の支援をボランティア活動という形で得ることは、子供やボランティアに新たな教育的価値をもたらす。筆者はこのような価値を「付加価値ですね」とその校長に話したところ、彼は「まさに」と言って賛同して、以後、この言葉で地域連携の新たな意義を語るようになった。

そうした取組の延長として、学校は町会や商店会と協働するようになり、ボランティアの発掘や職場体験活動などに町会長や商店会長の協力を得て、さらに「地元学」(ミクロレベルの地方学)の普及に向けて地域と共に歩み始めていく。校長が町会主催の講演会で学校や子供の様子を熱心に語る機会もつけられた。すると、町会は学校に強い関心をよせ、一方では子供が商店街に以前にも増して頻繁に足を運ぶようになり、結果として商店街や町が活性化したと言う。そうして、「学びを通じたコミュニティの形成」に至るのである。(略)

(文部科学省教育課程課/幼児教育課(編)『初等教育資料[2015年2月号]』佐藤晴雄「地域と連携・協力した教育の意義」より一部改変。下線部は出題者。)

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース試験問題

問題用紙全2枚 (その2)

問題2

下の表は、家庭の社会経済的背景 (SES : Socio Economic Status) と全国学力・学習状況調査結果 (小学校・中学校の調査問題ごとの正答率) との関係性を表したものである。SES とは、保護者の家庭の所得, 父親学歴, 母親学歴の3つの変数を合成した指標であり, 子どもの家庭の社会的・経済的地位を示している。当該指標を4等分し上位からそれぞれ, Highest SES, Upper Middle SES, Lower Middle SES, Lowest SES としている。表をもとに, 次の問いに答えなさい。

問1

子どもの学力と SES にはどのような関係性がみられるか述べなさい。

問2

このような状況を踏まえ, 教員となったあなたはどのように子どもたちと関わっていくか, 具体的に述べなさい。

表: 家庭の社会経済的背景 (SES) と子どもの学力 (数字は正答率)

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
Lowest SES	53.9	39.9	68.6	47.7	70.7	59.8	54.4	31.5
Lower Middle SES	60.1	46.1	75.2	55.1	75.2	66.0	62.0	38.8
Upper Middle SES	63.9	51.4	79.2	60.3	78.6	70.3	67.5	44.9
Highest SES	72.7	60.0	85.4	70.3	83.6	76.7	75.5	55.4

(国立大学法人お茶の水女子大学『平成25年度全国学力・学習状況調査(きめ細かい調査)の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究』[平成26年3月28日]より一部改変。)